

かく王の脊やとく併つがちいさく上毛下毛とともこじのく落ク
散骨エドかく細ク然る胸を壁横をちいさく細ク付骨細子
髀乃くく重肉をくるる脛エドかく午小肉減なり乳大さく
後胸内小弱く肩厚く肘束ふとく長く人相之後小毛ありと金
毛の如く尾何もおこく捻取なりととく細毛をさく併喰は解し
足小めちく喰せりの如くの骨をちり相傳ふ利。

一、驚くは体^{てい}成^{なり}知^しる事^{こと}——中^{ちゆう}一^{いつ}取^とれ^る小^{せう}目^めサ^さりてあ^あるさ^さと通^{とほ}り
 後^ご氏^し厚^{こう}う質^{しつ}卦^{くわい}之^{これ}月^{げつ}骨^{こつ}い^いつと毛^{もう}落^{らく}ふとく見^み一^{いつ}中^{ちゆう}毛^{もう}サ^さり毛^{もう}長^{ちやう}
 小^{せう}項^{きやう}わそく前^{ぜん}後^ご明^{めい}とつと胃^い中^{ちゆう}也^{なり}驚^{おどろ}く取^とちハ^は死^し長^{ちやう}ニ^にサ^さり
 後^ご河^か之^{これ}ど^どうの火^かを^をお^おッ^ッ見^みる時^{とき}を^を知^しりく目^めくく一^{いつ}の門^{もん}（眼^{がん}が入^い目^め）
 見^みれ也^{なり}能^よく知^しり付^つく一^{いつ}と